

令和4年度 花田小学校「教育活動の評価」

中期目標	重点努力目標（評価項目）		自己評価	総合評価	関係者評価	今後の改善方策等
<p>子どもの主体性を引き出す授業づくりを工夫し、生活に生きて働く知識・技能の習得と、よりよく問題を解決する資質・能力の育成に</p>	<p>子どもの主体性を引き出す授業づくり</p>	<p>「できた」「わかった」「もっとやりたい」という学ぶ意欲を高める授業づくりに努め、基礎・基本となる学力の定着・向上を図る。</p>	B	B	B	<p>年3回のチャレンジテストでは各自が目標をもち、取り組めるようにする。子どもたちの探究心や学ぶ意欲を高めるのに効果的なことから次年度も、校外学習や体験学習を重視し、学力の定着を図る。 学年相応のタブレット端末の使い方を習得させ、高学年では資料をまとめたり発信したりする力を伸ばしていく。</p>
	<p>生活に生きて働く知識・技能の習得と、よりよく問題を解決する資質・能力の育成</p>	<p>①地域の「ひと・もの・こと」を活用した学習や問題解決的な学習、タブレット端末を活用した学習を積極的に取り入れる。 ②学び合いや発表の場を計画的に仕組み、思考力・判断力・表現力を育成する。</p>	A			
<p>道徳教育と特別活動の充実を努め、自主・自律の心、思いやり・感謝の心の育成をめざし、「心の花運動」を推進する。</p>	<p>自主・自律の心、思いやり・感謝の心の育成</p>	<p>①自分の居場所があり、自分のよさを発揮できる温かな学級・学年集団づくりに努める。 ②各行事後、学級活動後に「心の花運動」を実践する。</p>	B	B	B	<p>自分の居場所がある学級づくりを学級経営の基本とし、全職員で取り組む。「心の花運動」は、子どもたちの心を育てる活動として継続していく。さらに、カードの活用方法を工夫し、子どもたちがお互いを認め合うツールになるようにしていく。 道徳は、今後も大切にし、心の教育に力を入れていく。 感染予防に留意し、フレンド活動や異学年交流を充実させていく。</p>
	<p>道徳教育、特別活動の充実</p>	<p>①子どもが互いのよさや努力を認め合う場を、朝の会・帰りの会、授業において積極的に取り入れる。 ②子ども理解を基に成長への願いをかけ、子どもの自主的な取り組みや自律的な言動、他者を思いやる言動などを、積極的に「認め・褒め・励ます」言葉かけをする。</p>	A			
<p>安全安心でできる教育環境づくりに貢献を尽くす。</p>	<p>健康、安全教育の充実</p>	<p>①感染症予防や食物アレルギー対応に組織的に取り組める仕組みをつくる。 ②避難訓練、不審者対応やけが防止など、自分の「いのち・からだ」を自分で守れるよう計画的に指導を行う。</p>	A	A	A	<p>子どもが安心・安全に学校生活を送ることができるように教員研修を計画的に実施する。子ども自身も自分の命を自分で守れるように避難訓練や安全教育で指導していく。 校内の事故やけがを教訓として、再発防止のために最善を尽くすとともに、日常の安全管理に努める。 子どもの小さな変化を見逃さないようにする。職員同士、担任と保護者が連携して新たな一人を出さないように努める。</p>
	<p>安全指導と安全管理の徹底</p>	<p>実験・実技などの授業や校外学習における安全指導と、日常的な安全管理の徹底を図る。</p>	B			
	<p>いじめや不登校の未然防止と早期対応</p>	<p>①子どもの小さな変化を早期に発見し、早期に対応できる体制づくりに努める。 ②市教委作成の「生活サポートカレンダー」を活用する。</p>	A			
<p>教職員が心身共に健康で、教育のプロとしての力量向上を図ろうとする職場づくりを努める。</p>	<p>授業力・指導力の向上</p>	<p>①学習評価（三観点）と「はなだポイント」に重点を置いた現職研修の充実を図る。 ②教職員の持ち味・専門性を生かし、学び合う教職員集団づくりをめざす。</p>	A	B	B	<p>子どもにどんな力をつけたいのかという願いを明確にし、授業改善に努める。授業などでICT機器を積極的に活用していく。 分掌や行事で多忙な時期があるため在校時間が長くなる職員もいる。計画的に先を見通した取り組みができるよう引き続きタイムマネジメントの意識啓発に努める。また、チームで協働し、業務の平準化を図る。</p>
	<p>働き方改革の継続・推進</p>	<p>①ノー残業デーを毎月設定したり、2週間分の週報を配付したりし、計画的に業務を進められるように配慮し、各自のタイムマネジメント意識、メンタルヘルスへの意識を高める。 ②会議の目的により、時間・参加者・協議方法を工夫し効率化を図る。</p>	B			

※評価 A…十分に達成した B…概ね達成した C…あまり達成されていない D…ほとんど達成されていない

学校改善に向けて

上記の表は、十一月までの花田小学校の学級経営について、児童、保護者、教職員を対象に実施したアンケート調査の結果をもとに、学校の自己評価と学校サポート委員（学校評議員）の意見・評価をまとめたものです。「今後の改善方策等」に記載した目標や方策を柱として、令和5年度の教育活動の充実・改善に努めてまいります。

保護者の皆様からは、多くの貴重なご意見やご要望をいただきました。アンケートへのご協力ありがとうございました。

本年度、初めてウェブによるアンケート調査を実施し、回答と集計作業の効率化を図りました。今後、この方法で実施していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



中庭の河津桜が満開です。（三月三日）。桜の前で記念写真を撮影する学級が見られます。花田小学校の風物詩です。